

# 動物愛護センター(仮称)の実施設設計の概要について

生活衛生課

## 動物愛護センター(仮称)の新築工事

- 整備構想及び基本設計を基に、本棟(建築、電気設備、機械設備)、車庫、外構について設計
- 床面積 1,446㎡(木造平屋建)、敷地面積 約6,000㎡
- 玄関ホールや展示・交流コーナーなどにCLTを使用
- 利用者に親しみやすく、外観から動物関連施設であることがわかる、子供たちが楽しみながら体験や学習ができる施設・設備とする。



年度	H29	H30	H31
スケジュール(案)	動物管理センター改修工事	本棟工事 車庫工事 外構工事 道路標識 備品購入	年度内開所予定

### 動物交流コーナー

- ・ 犬を同伴した飼い主が、他の来客との情報交換や談話などができるスペース。キッズコーナーも設置
- ・ キャットタワーには猫、玄関脇には秋田犬も展示

### テラスとデッキ

- ・ 建物の外周には2mの庇を設けることにより、雨、雪、日よけとなり、犬の訓練や運動ができるよう工夫

### ふれあい広場・ドッグラン

- ・ 屋外での犬のしつけ方教室や動物愛護イベントの開催を想定
- ・ ドッグランは、犬の呼び戻しなどのしつけ実技訓練などに使用



### 多目的ホール

- ・ 天候に左右されない犬のしつけ方教室の実技講習や、120名までのセミナーが可能

### 展示・学習コーナー

- ・ 動物愛護や適正飼養などのパネルの展示や図書の閲覧、DVDを視聴できるモニターを設置
- ・ 譲渡や迷子犬猫情報、ボランティアの活動などを紹介

### 正面入口・エントランス

- ・ 外観は、子供たちが想像を膨らませて様々な動物をイメージできるような工夫するとともに、庇の支え部分等にも木材を多く使用するなど、建物全体として木造らしさを強調
- ・ エントランスなど建物の内壁や柱には、可能な限りCLTを活用
- ・ 車寄せは、乗用車4台分(大型バス1台分)の広さを確保し、アーチ型屋根の天井部分を拡張

### センターへの出入口

- ・ 中央公園で開催される各種大会での公園内連絡道路の渋滞を考慮し、直接、県道から取り付け。
- ・ 位置については、県道の勾配等に配慮し、連絡道路側に、寄せて取り付け。

至 あきたスカイドーム

公園内連絡道路

至 秋田空港

出入口

県道61号線